３年「　市のうつりかわり　」　（２～３月　10時間　）

1. 小単元の目標・・・この単元は学習指導要領の内容（４）ア（ア）（イ），イ（ア）に基づいて行う

　市の様子の移り変わりについて，交通や公共施設，土地利用や人口，生活の道具などの時期による違いに着目して，関係者や地域の人などに聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして，年表などにまとめることで市や人々の生活の様子を捉え，それらの変化を考え，表現することを通して，市の人々の生活の様子は，時間の経過に伴い，移り変わってきたことを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を解決しようとする。

（２）評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力等 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ・交通や公共施設，土地利用や人口，  生活の道具などの時期による違い  について関係者や地域の人などに  聞き取り調査をしたり地図などの  資料などで調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，市や人々の生活の様子を理解している。  ・調べたことを年表や文などにまとめ，市や人々の生活の様子は，時間の経過に伴い，移り変わってきたことを理解している。 | ・交通や公共施設，土地利用や人口，生活の道具などの時期による違いに着目して，問いを見出し，市や人々の生活の様子について表現している。  ・駅や鉄道，公共施設ができたこと，人口が変化してきたこと，土地利用の様子や生活の道具が変わったことなどを相互に関連付けたり，市の様子の変化と人々の生活の様子の変化を結び付けたりして，市の人々の様子の変化を考え，適切に表現している。 | ・市の様子の移り変わりについて，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 |

（３）知識の構造図

中心概念

時間の経過に伴い，合併によって仙台市域が広がり，交通や公共施設の整備，人口の増加による住宅地や店の増加，電化製品の普及などによって人々の生活は便利になり，仙台市は発展してきた。❽❾

具体的

七〇年ほど前と現在を比べると、仙台市域が広がった。仙台駅前は高い建物が建ち、道路も整備された。駅舎も大きくなり、鉄道が発展した。　　　　　➊❷

道路や鉄道（地下鉄、新幹線）などの交通が整備されたことによって、遠くまで早く移動できるようになった。❸

七〇年ほど前は田畑や森林だったところに住宅地がつくられ、家や店が多いところが増えた。工場や工場に関する建物も増えた。❹

仙台市はまわりの市町村と合併し、人口が増えてきた。現在少子高齢化が進むとともに、外国人居住者が増えている。❺

人々が暮らしやすいように、学校や図書館、公民館などの公共施設が増えた。公共施設の建設や運営には市役所が関わっており、市民から集めた税金が使われている。❻

昔は電気を使わない道具だったが、電化製品が普及し、炊事や洗濯など家事に使用する道具や、明かりや暖をとる道具などが改良されて生活が便利になった。❼

子供やお年寄り、体の不自由な人や外国の人など、誰もが楽しく暮らしやすいまちにしたい。❿

知識

用語

・田畑

・住宅地

・工場

・公共施設

・市役所

・税金

・道具

・電化製品

・人口・合併

・少子化

・高齢化

・国際化

・交通

・鉄道

・道路

・時期の区分

・元号による表し方

(明治・大正・昭和・平成・令和)

・江戸時代のような表し方

語句

つかむ

調べる

いかす

問題解決的な

学習の過程

（４）指導計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習  過程 | 主発問  主な学習活動・内容 | □指導上の留意点  ☆評価計画 | 資料 |
| 学習問題をつかむ（２時間） | ➊❷　仙台駅のまわりは，どのようにかわってきたのでしょうか。   1. 「70年から60年ほど前」「50年から40年ほど前」「今」の３枚の仙台駅前の写真をくらべて気付いたことを発表する。 2. 「戦災復興記念館ガイドボランティア   の話」などから昔の様子について分かったことを発表する。  ③　「70年ほど前の仙台市の範囲」と「今の仙台市の範囲」の地図をくらべて，気づいたことや疑問に思ったことを発表する。  ④　疑問に思ったことをもとにして学習問題をつくる。  学習問題　仙台市の様子は，どのようにかわってきたのでしょうか。  ⑤　学習問題について予想し，調べること，調べ方，まとめ方について話し合う。 | □社会的事象の見方・考え方（時間の経過による“変化”などの視点）を意識した問いを工夫し，仙台駅前や仙台市域の変化の傾向を考え，表現させる。  ☆交通や公共施設，土地利用や人口，生活の道具などの時期による違いに着目して，問いを見いだし，市や人々の生活の様子について表現している。  《思考力・判断力・表現力等》  ☆市の様子の移り変わりについて,予想や学習計画を立てようとしている。  《主体的に学習に取り組む態度》 | (以下◆マーク『わたしたちのまち仙台』の資料)を指す  ◆仙台駅前の写真  ◆戦災復興記念館ガイドボランティアの話  ◆仙台市の範囲の地図 |
| 学習問題について調べる（５時間）  学習過  程 | ❸　仙台市の交通は，どのようにかわってきたのでしょうか。  ①「70年から60年ほど前」「50年から40年ほど前」「今」の鉄道や道路の地図をくらべて，交通が整備されてきた様子を調べる。  ②道路や鉄道が整備されることによって，わたしたちの生活はどのように変わってきたのかについて話し合う。  道路や鉄道（地下鉄，新幹線）などの交通が整備されたことによって，遠くまで早く移動できるようになった。 | □社会的事象の見方・考え方（位置や空間的な広がりの視点）を働かせて仙台市の交通の地図を比較させる。  □地図帳を活用し，仙台市の鉄道や道路の市外への広がりに着目させる。  □鉄道や道路などの整備と仙台市の人々の生活を関連付け，交通がどのような役割を果たしてきたか考えさせる。  ☆交通の時期による違いについて地図などの資料で調べて,必要な情報を集め,読み取り,市や人々の生活の様子を理解している。《知識・技能》 | ◆仙台市の交通の地図  ・地図帳(帝国書院)  P67,68 |
| ❹仙台市の土地の使われ方は，どのようにかわってきたのでしょうか。  ①「70年から60年ほど前」「50年から40年ほど前」「今」の土地の使われ方について調べる。  ②土地の使われ方の変化から分かることについて話し合う。  昔は田畑や森林だったところに住宅地がつ  くられ，「家や店が多いところ」が増えた。また，「工場や工場に関する建物」も増えた。 | □昔は森林や田畑だったところが，現在は住宅地や商業・工業地域に変わったことなど，仙台市全体を見渡して，時間の経過による変化をとらえさせる。  ☆土地の使われ方の時期による違いについて地図などの資料などで調べて,必要な情報を集め,読み取り,市や人々の生活の様子を理解している。  《知識・技能》 | ◆仙台市の土地利用図  ・地図帳 |
| ❺仙台市の人の数は，どのようにかわってきたのでしょうか。  ①仙台市の人口の移り変わりのグラフを読み取り，気づいたことや疑問に思ったことを発表する。  ②人口の変化と土地の移り変わりの資料から，人口  が増えた理由などについて考えたことを話し合う。 | □仙台市の人口増加と市町村合併による仙台市域の広がりを関連付けて考えさせる。  □仙台市の子供の人口，高齢者の人口，外国人居住者の人口のグラフから，少子高齢化・国際化が進んでいることに気付かせる。 | ◆仙台市の人口のグラフ(総人口・子供,高齢者,外国人の人口) |
| 仙台市はまわりの市町村と合併し，人口が増えてきた。少子高齢化が進むとともに，外国人居住者が増えている。 | ☆人口の時期による違いについて地図などの資料などで調べて,必要な情報を集め,読み取り,市や人々の生活の様子を理解している。《知識・技能》 |  |
| ❻仙台市の主な公共施設は，いつ頃できたのでしょうか。  ①わたしたちの学校や仙台市内の学校はいつ頃できたのかについて調べる。  ②どのような公共施設がいつ頃できたのか，調べて分かったことを話し合う。  人々が暮らしやすいように，学校や図書館，市民センターなどの公共施設が増えた。公共施設の建設や運営には市役所が関わっており，市民から集めた税金が使われている。 | □公共施設については，学校，図書館，市民センター，資料館などを取り上げる。  □地域の実態を生かし，児童に身近な公共施設を見学したり，公共施設の職員をゲストティーチャーとして招くなど，地域の施設や人材を積極的に活用する。  ☆公共施設の時期による違いについて地図などの資料などで調べて,必要な情報を集め,読み取り,市や人々の生活の様子を理解している。  《知識・技能》 | ◆仙台市の公共施設の地図  ・地図帳  ・地域の公共施設 |
| ❼くらしの中の道具は，どのようにかわってきたのでしょうか。  ①くらしの道具の移り変わりについて，調べたことを道具年表にまとめ，分かったことを発表する。  昔は電気を使わない道具だったが，電化製品が普及し，炊事や洗濯など家事に使用する道具や，明かりや暖をとる道具などが改良されて生活が便利になった。 | □電化製品が普及する前と後，及び現在の生活の中で使用している道具の使い方を比べ，人々の生活の変化について捉えさせる。  □仙台市歴史民俗資料館や地域の人材と連携し，児童に実物へ触れさせるとともに，従事する人々の役割や意義について気付かせる。  ☆生活の道具の時期による違いについて地図などの資料などで調べて,必要な情報を集め,読み取り,市や人々の生活の様子を理解している。《知識・技能》 | ・仙台市歴史  民俗資料館  ・図書室の本  ・昔の道具を使っている場面の写真  (ゲストティーチャーから教わってもよい) |
| 学習問題をまとめる(２時間) | ❽❾市のうつりかわりを年表にまとめよう。  ①学習問題を改めて確認した上で，これまで調べたことを，時期の区分や時間の経過に沿って一つの年表にまとめる。  ②まとめた年表を見ながら，これまで調べてきたことを相互に関連付けたり，結びつけたりして，都市化や少子高齢化など仙台市全体の時期ごとの変化の傾向を考えさせ，分かったことを話し合う。  合併によって仙台市の範囲が広がり，交通や公共施設の整備，人口の増加による住宅地や店の増加，電化製品の普及などによって人々の生活は便利になり，仙台市は発展してきた。 | ☆調べたことを年表や文などにまとめ,市や人々の生活の様子は,時間の経過に伴い,移り変わってきたことを理解している。《知識・技能》  ☆駅や鉄道，公共施設ができたこと，人口が変化してきたこと，土地利用の様子や生活の道具が変わったことなどを相互に関連付けたり，市の様子の変化と人々の生活の様子の変化を結び付けたりして，市や人々の様子の変化を考え，適切に表現している。《思考力・判断力・表現力等》 | ・見学カード  ・パンフレット  ・児童が作成した年表 |
| いかす（１時間） | ❿これからの仙台市について考えよう。  ①仙台市の発展のための取組について調べる。  ②学習してきたことを生かしながら，これからどのような仙台市になってほしいかを話し合う。  子供やお年寄り，体の不自由な人や外国の人  など，誰もが楽しく暮らしやすいまちにしたい。 | □市役所などが作成している資料等をもとに，仙台市の将来について考えさせたり，討論させたりする。  ☆主体的に学習問題を追究し,解決しようとしている。  《主体的に学習に取り組む態度》 | ・児童が作成した年表  ・市政だより  ・仙台市のHP |